

# 信濃川水系南佐久圏域河川整備計画（原案） 公聴会 公述記録

掲載は公述順です

油井 明人さん

私は、 の油井明人でございます。私は、北沢川の周辺に住んでおりまして、半世紀以上経過をしてございます。そんなことから、この川の増水と氾濫で住居への被害が度々目撃をしております、一刻も早くこの川が改修されれば良いなということを心から思っていたわけです。早く改修されて、氾濫からの周辺住民の恐怖がなくなることを願っている一人でございます。

県は今回、ようやく河川整備計画に手を付け、この原案が公表されました。私もホームページからプリントして、この計画をずっと読んできたわけでございますが、私の次にもう一人公述人、井出さんがおりますが、井出さんは北沢川の周囲に土地を持ち、住宅を持ち、非常に、私よりこの川の増水に脅威を感じている人で、川の今度の計画の具体的なことが公述されると思いますので、私からはちょっと別の視点から、公述したいと思います。

それは、簡易水道の水源の保全について、感じたことを公述させていただきます。北沢川の整備計画の内容、先程来説明もありましたが、この整備計画の区域内には、佐久町北部水道の水源が2箇所ございます。この水道は、北沢川が一級河川の指定を受け、長野県が管理するよりずっと以前、昭和20年代の旧栄村時代にできた水道でございます。五十有余年の歴史があります。今では、350戸1500人、1日約300トンを給水しております。この水源は、八ヶ岳山系から地下水脈が北沢地籍で自噴し、これを配水池まで導水しております。今回示された北沢川整備計画、これを閲覧したところ、先程来も若干説明がありましたが、この第3章の河川整備の実施に関する事項で千曲川の合流点から上流1.6kmの間を30年確率の水量で毎秒150トンが流れるよう、川を拡幅し、河底を掘削し、護岸をし、橋梁架替えをするというように載っております。整備区域内にある簡易水道の水源の保全については、全く触れられておりませんので、その水道で生活している1500人の多くは、水源は大丈夫かと心配しているところです。心配する具体的な事項を2、3申し上げますと、河道の拡幅には今の河川に隣接する水道の敷地が必要です。これに伴い、地下水脈が変化することを一番恐れています。次に心配するのが、水質・水量への悪影響です。この水質、非常に良好でありまして、他のどこの水道よりもおいしく、自慢できる水道です。このような状況ですので、今後、実施計画を立てる前に水源保全の環境影響評価をしっかりとやっていただいて、水源保全対策を明確に住民に示していただき、住民の不安解消に伝えてから、進めたいことを申し上げます。私の公述といたします。

時間があれば、まだいっぱい言いたいことがあるわけですが、さっきチンと鳴ってしまいましたので、ちょっとはしよりましたが、そんなことで、一つよろしくご検討お願いしたいと思っております。以上です。

井出 郁次郎さん

私は、 の井出郁次郎です。今回の北沢川整備について、宿岩地区は北沢川の最下流であります。私が、物心がついてから今日まで幾度とも増水で部落内の浸水にあったことか。これに増しまして、上区にゴルフ場、また高速道、農免道ができることで、ますます、現在の川幅では部落内に浸水することは火を見るより明らかであります。一日も早く整備されて、部落の水による歴史に終止符を打ってほしいと思っております。

この整備について、地権者になった人々が納得のできる設計をして、納得ができる説明をしてほしいものです。以上です。